

第19回大会

平成10年8月8日～9日

那須野ヶ原カントリークラブ／男子36校・女子15校



女子の部で春日丘(はるひがおか、愛知)が初出場初優勝の快挙を達成した。首位の東海大二(熊本)に1打差2位からスタート、田中亜依(2年)が70をマークするなどトータルで440とし、逆転勝ちした。男子の部は水城(すいじょう、茨城)がトータル439で2位の柳川(福岡)の追撃をかわして逃げ切り勝ち。同校として8年ぶりの2連覇を果たした。

春日丘に逆転優勝を導いたのは、小柄な田中だった。自分でも「びっくりした」と話すように、前半をパープレーの36でまとめると、後半さらに猛チャージをかけ、この日のベストスコア70をマークし、前日首位の東海大二を突き放した。

「亜依ちゃんのおかげです」。主将の桶田綾子(2年)もこう話した。しかしたった一人の奮闘で優勝はつかめない。桶田も悪いなりに踏ん張った。主将としての意地だった。古閑美保(1年)や紫垣綾花(1年)ら、プロツアーにも参加する超高校級をそろえた東海大二をライバルとして意識し、試合に臨んでいた。桶田は「このメンバーで、優勝できると思っていた。追う立場だったので気分的には楽だったが、甘くはなかった」と、苦しい戦いを振り返った。

また、男子は、水城が粘りと底力を見せつけ競り勝った。「連覇がかかってプレッシャーがあった」と小黒主将が振り返るように、楽には勝たせてもらえなかった。柳川の追撃に初日につくった8打差がみるみる縮まる。それでも終わってみれば、4差をつけての連覇となっていた。

「スコアには満足していないが、勝負どころで決められた」というのは村上。前半40と崩れたが、終盤に巻き返した。選手層が厚く、シ烈なレギュラー争いがこの粘りにつながっている。出場4選手の出身地は兵庫県、熊本県、静岡県、神奈川県とバラバラ。全国から「レベルの高いところでゴルフがやりたい」(小黒)と名門水城に集まり、寮生活を送っている。昨年補欠だった長島は、2回OBを打ったが、出場できない部員たちを思い、その責任感で常に緊張を保ち続けた。

1989(平成)、90年に連覇を果たした時は、現在プロで活躍している横田真一、片山晋呉、宮本勝昌らがいた。偉大な先輩たちに並び、「まるで自分たちもプロになった気分」と村上は顔をほころばせた。手にした自信は大きく、男子では、日体荏原に続く3連覇に挑戦する。



◇男子成績

①水城(茨城) 439 (215、224)

小黒 貴志③	144 (72・72)
長嶋 庄平③	149 (72・77)
村上 史晃②	151 (76・75)
斉藤 大将②	152 (71・81)

②柳川(福岡) 443 (224、219)

池田 力③	144 (72・72)
田畑 信昭②	147 (73・74)
高村 宏①	163 (79・84)
高村 賢治②	— (79・—)
村田 章悟①	— (—・73)

③沖学園(福岡) 444 (224、220)

清田太郎③	143 (72・71)
甲斐慎太郎②	152 (75・77)
横山 清人③	— (77・—)
勇 賢吾②	— (82・—)
小山 彰吾③	— (—・72)
中村 成児③	— (—・79)

⑦東海大二(熊本)	453(226・227)	⑳福島(福島)	476(235・241)
⑧PL学園(大阪)	456(226・230)	㉑厚木北(神奈川)	476(239・237)
⑨埼玉栄(埼玉)	456(229・227)	㉒美濃加茂(岐阜)	479(242・237)
⑩仙台育英(宮城)	460(234・226)	㉓広陵(広島)	480(236・244)
⑪愛知(愛知)	461(223・238)	㉔千葉日大(千葉)	480(241・239)
⑫明德義塾(高知)	462(232・230)	㉕浦和学院(埼玉)	482(238・244)
⑬埼玉玉(埼玉)	463(241・222)	㉖日大(神奈川)	483(240・243)
⑭恵庭南(北海道)	463(241・222)	㉗立正(東京)	492(244・248)
⑮瀬戸内(広島)	465(233・232)	㉘札幌商(北海道)	503(245・258)
⑯札幌光星(北海道)	467(233・234)	㉙星陵(静岡)	505(252・253)
⑰興国(大阪)	467(233・234)	㉚駒場学園(東京)	510(258・252)
⑱久居(三重)	469(229・240)	㉛西武台千葉(千葉)	510(258・252)
⑲平安(京都)	473(234・239)	㉜修徳(東京)	514(262・252)
㉑佐野日大(栃木)	473(234・239)	㉝愛工大名電(愛知)	516(257・259)
㉒滝川二(兵庫)	475(244・231)		

◇女子成績

①春日丘(愛知) 440 (220、220)

田中 亜依②	144 (74・70)
桶田 綾子②	147 (73・74)
佐藤 丹美①	149 (73・76)
朝隈 正美②	212 (113・99)

②東海大二(熊本) 442 (219、223)

紫垣 綾花①	148 (74・74)
成田いづみ①	148 (71・77)
古閑 美保①	148 (74・74)
松村 瞳②	151 (76・75)

③大体大浪商(大阪) 458 (232、226)

石川 沙織③	145 (74・71)
東妻 茜③	151 (77・74)
松平真佐美②	162 (81・81)

④沖学園(福岡)	462(227・235)	⑩作新学院(栃木)	513(257・256)
⑤埼玉栄(埼玉)	465(233・232)	⑪仙台育英(宮城)	515(252・263)
⑥堀越(東京)	471(232・239)	⑫東北(宮城)	523(262・261)
⑦北海道工(北海道)	479(247・232)	⑬佐野日大(栃木)	528(267・261)
⑧香川西(香川)	481(240・241)	⑭津島女子(愛知)	559(285・274)
⑨武蔵野(東京)	512(260・252)	⑮播磨(兵庫)	583(286・297)

※名前の後の丸数字は学年。各学校各日上位3人の合計スコア。タイスコアの場合は、同4人の合計スコアで順位を決定する。